議会だより

なよろ

令和８年
第３回定例会
第82号
令和８年11月１日
発行



名寄市観光キャラクター
「なよろう」



題字　名寄市立大学書道サークル　中村（なかむら）　星（あかり）さん

http://www.city.nayoro.lg.jp/assembly/

認定

令和7年度 決算



広報広聴事業

Q　広報アドバイザー業務委託の成果、効果は。

A　専門家からの多角的なアドバイスを受け、ターゲットを意識した発信など情報発信の強化につながった。広報なよろのリニューアルにもご指導いただいた。

待機児童解消緊急対策事業

Q　待機児童の対策は。

A　保育士の確保が課題であり、就職や復職に向け取組んでいる。民間事業者とも協力しながら対応したい。

英語指導助手事業

Q　ALT（外国語指導助手）が 4 名に増員した。成果と課題は。

A　こども達が生きた英語に触れる機会が増え、中学 3 年生の英語力が上昇。今後も授業参画率を上げることが課題。増員も検討したい。

除排雪担い手育成確保事業

Q　除排雪の担い手確保の取組みは。

A　広報で除排雪特集を組むなど、市民理解の醸成に努めている。免許・資格取得への助成を通じて担い手確保に取組みたい。

情報化推進事業

Q　市民サービスオンライン化の効果と課題は。

A　設備更新があり経費が増加した。職員の働き方と利便性の向上に寄与する事業であり、市民ニーズを確認しながら随時拡大したい。

不登校児童生徒相談事業

Q　不登校児童・生徒への対策と心の相談員の活動は。

A　相談員が小学校・中学校に出向いて柔軟な相談体制を構築している。不登校の未然防止や早期支援につながっている。今後も必要な支援が届くよう取組みたい。

防災会議・訓練等事業

Q　避難訓練の状況は。

A　訓練参加人数は増加傾向。実際の状況に即した訓練を行った。有事の際には適切な行動に結び付けられる行動を取れるよう訓練を継続したい。

「決算審査特別委員会」ってなぁに？

もっち

Q 先生、決算審査特別委員会って、何をするところ？

A 毎年９月に前の年度の決算が議会に提出され、その審査のために設置される委員会なんだ。予算に沿ってお金を使ったか、事業の成果はどうだったかなどを調べるよ。その結果を踏まえて、議会が決算を認定するか、不認定とするかを決めるんだ。

議会ナビ先生



Q どんな決算を調べたの？

A 一般会計のほか、市立大学・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・食肉センターの特別会計、水道事業・下水道事業・病院事業の企業会計を、議員 16 人全員で４日間かけて審査したよ。



決算　総括質疑



市民ネット

くらさわ　ひろし
倉澤　宏 議員



市政クラブ

えんどう　たかお
遠藤　隆男 議員

行政ポイント事業について

Q 財源の多くが一般財源だが、今後、持続可能な事業となり得るか。

A 決算総額は 2,556 万円で一般財源分として 1,920 万円、厳しい財源状況のもと、事業の効果を十分検討していくことが必要であり、特定財源の確保に努めることも重要。令和８年度では「てくＴＥＣＨ事業」の一部を介護保険特別会計で実施することとしている。

負担金補助金及び交付金の適正化について

Q 補助金の適正化に向けたガイドラインの策定のスケジュールと実効性は。

A 補助金負担金等は総合計画ローリング、予算協議で見直しを図っているが、全庁的に考え方を明確にして検証と見直しを継続的に実施するための統一的な指針としたい。関連する計画と連携する部分も多いので、今年度末を目途に策定と考えているが、令和９年度予算でも補助金の市民ニーズを的確に把握し、補助金の効果を検証し編成にあたりたい。

効果的な歳出実行について

Q 出資比率の高い法人に対し、貴重な一般財源である出資金が目的に沿って管理されているか。出資法人の経営の透明性を高めるためにも地方自治法に基づく市長の調査等の対象を定める条例を早急に整備する必要があるのでは。

A 出資法人は公益的な側面があるため、経営内容を把握することは重要。他の自治体の状況を確認し、制定に向けた可能性を研究する。

令和７年度決算後の財政状況について

Q 基金の残高と今後の推移について伺う。

A 普通会計での基金残高は前年度比 13％減の約 70 億 3,100万円。今後も公共インフラの老朽化対策や人件費の増、物価高騰への対応などを見据えると予断を許さない厳しい財政状況にある。同じような基金の取り崩しが続けば、数年のうちに基金が枯渇しかねない危機的状況にある。

Q 市債残高の推移について伺う。

A 令和８年度も名寄中学校及び名寄東中学校整備事業、一般廃棄物中間処理施設建設工事負担金などの財源に市債の活用を見込んでいる。市債残高は令和８年度も増加する見込みである。今後も事業内容に適した有利な市債の借入れに努め、借入れと償還のバランスを図りながら将来世代に大きな負担とならないよう、持続可能な財政運営に努める。

Q 公債費の推移について伺う。

A 令和７年度決算統計ベースで元金・利子合わせて約 28 億円。シュミレーションでは約 30 億円を超える年度もあると推計している。推計値ではあるが、公債費は義務的経費であり、大半が一般財源負担である。負担が大きくなると経常収支比率にも大きな影響を及ぼすことになる。交付税参入率が高い有利な地方債を活用し、市の実質的な持ち出し分を抑えられるように努めているが、借金であることには変わりがないことと、これからは金利のある時代。地方債の借入れと公債費の管理についてはこれまで以上に計画的に進めていく必要がある。

一般質問



市政クラブ
いまむら　よしひこ
今村 芳彦 議員

ＡＩ時代の到来

Q　ＡＩの導入で業務の効率化を図っては。

A　本年４月 20 日から行政業務に特化した QommomsAI（コモンズAI）を利用している。AIの活用により生み出された時間を、職員が市民の皆さんと向き合う時間へシフトする手段としても位置付けている。

正しく利用するために

Q　正確な業務が求められる。チェック体制は。

A　生成ＡＩ利用のガイドラインを制定し、一次情報や法令情報の突合を厳格に義務付けて正確性を担保している。

万が一の事態に備えて

Q　情報漏洩への対応は。

A　名寄市情報セキュリティポリシーを策定したほか、名寄市情報セキュリティ会議も設置し、迅速かつ適切に対処する。



公明
たかはし　しんすけ
高橋 伸典 議員

がん患者の社会参加への支援を

Q　脱毛などに伴う外見変化に苦しむがん患者の方の社会参加支援するため、医療用ウィッグなどの購入費用を助成するアピアランスケア助成を行うべきでは。

A　治療に伴う外見の変化による心理的・社会的負担を軽減し、患者が治療と社会生活を両立できるよう支援することは重要だが、継続的な財源確保が必要。本市単独での実施は財政的に厳しい。国・北海道の動向を注視し情報収集に努める。

防災対策の強化を

Q　災害時に通信が途絶えてもＧＰＳ機能で最寄りの避難所に誘導してくれる防災･避難誘導アプリ「みたチョ」の周知･活用を。

A　「みたチョ」は、災害時の避難行動を支援するツールとして有効。「みたチョ」に限らず、防災ツールについて防災訓練やイベント、防災講座などで市民周知に努める。



市政クラブ
ひがしかわ　たかよし
東川 孝義 議員

名寄市総合計画（第２次）後期計画の仕上げに向けて

Q　後期計画の重点プロジェクトの指標項目における基準に対する目標値の成果は。

A　令和７年度実績は４指標が目標値に達している。目標値の達成、未達成だけではなく、どう推移したか判断したい。名寄市立大学生の地元定着については、今後インターンシップの取組みを進めていきたい。

名寄市公共施設等再配置計画の見直しについて

Q　短期計画期間における（フェーズ１）で設定した施策相違点の対応は。

A　公共施設を取り巻く状況や事業優先度、財政負担により変化し、今後の公共施設等再配置計画は、まちなかの空間をどうしていくのか「空間戦略」が重要。

Q　名寄まちなか未来宣言との整合性は。

A　まちなか再生については株式会社まちづくり名寄と連携し、駅前中心部を核として、できることから進めていく。



市政クラブ
あずま　ちはる
東　千春 議員

なよろ健康の森のさらなる利用促進について

Q　市民農園や散策路、トムテ文化の森やＢＭＸコース、他の既存施設を活用した体験学習の利用について伺う。

A　市民農園ではホームページなどの情報を充実させて利用を促進する。トムテ文化の森は休憩場所としての利用の可能性がある。ＢＭＸコースは今後のあり方を検討する。周辺エリアとともに自然体験を含め、指定管理者と協議する。

名寄に住む外国人について

Q　互いに気持ちよく生活できるための環境づくりについて伺う。

A　本市における外国人住民数は９月１日付で 203 名で、技能実習の在留資格は 21 名、特定技能での在留資格は 106 名となっている。語学では原則として一定水準の日本語を理解できる方が多い。「にほんごひろば」や「日本語教室」で支援している。また、パークゴルフなどのイベントで交流を持っている。

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます

一般質問



市政クラブ
こんどう　ともみ
近藤　友美 議員

ヨロカの現状と今後の展開について

Q　ヨロカの成果と今後の市の支援について。

A　普及当初から利用額等年々拡大し、経済効果として成果が上がっている。今後は「普及」から「利用拡大」に向けた取組みへとシフトしていく必要がある。持続可能な事業とするため、利用データの分析や活用、運営主体・関係機関と協議、連携を含め、必要な支援をしていく。

交通安全対策について

Q　幼稚園・保育所・小学校での交通安全対策と交通指導員等の担い手について。

A　交通安全教室の実施、町内会への出前トーク等、関係機関団体と連携した啓発活動を実施している。交通指導員は現在 15 名。様々な活動を通して関心を持っていただけるよう市民・団体に働きかけ、新しい担い手の発掘と育成に努める。



市政クラブ
みずま　けんじ
水間 健詞 議員

地域産業の未来予想図

Q　人口減少と人手不足が地域経済に与える影響の認識と市内産業の将来の見通しは。

A　人手不足が続くと、各事業者の活動だけでなく、担い手が育たないなどの影響により、将来的な事業所数の減少につながり、地域経済の弱体化が危惧される。

未来へつなぐ二つの力

Q　今後は人材を確保する取組みと、少ない人数でも地域産業を維持できる構造を作る取組みの双方が必要ではないか。

A　デジタル化だけで全てが解決するものではなく、引き続き人手を確保する取組みは重要である。人手の確保と省力化・効率化を図る取組みを両輪として進めていきたい。



市政クラブ
たに　さとし
谷　聡 議員

農業支援員制度の課題について

Q　委嘱期間終了後の定住に向けた課題は。

A　将来の出口戦略を見据えた計画的なサポートを強化していくことが重要。

農業支援員制度の拡大について

Q　人口減少に歯止めをかける有効な手段、拡大を検討すべきでは。

A　担い手確保において重要と認識。いろいろな課題をクリアし、持続可能な受け入れ環境が整った段階を見据え、制度拡大に取組みたい。

下水道事業経営戦略について

Q　「効率化・経営健全化の取組み」の具体的な事例は。

A　風連浄水管理センターの維持運転管理や水道メーターの検針など個別委託を導入。また料金窓口業務や給排水業務の包括委託の導入を検討している。



日本共産党
かわむら　ゆきえ
川村 幸栄 議員

安全性を大前提に公共性を重視した鉄路を

Q　ＪＲ北海道は赤字が続く道内在来線８線区について上下分離方式への移行協議を道や沿線自治体と進める方針を発表。ＪＲ北海道だけでは路線維持が困難との理由。地方自治体からは異論が。社会的意義や公共交通機関として国は関与すべきであると考えるが。

A　利用者の利便性と地域住民の利益を守る立場から、沿線自治体、道やＪＲなどと連携し、宗谷本線の維持・存続と地域公共交通の確保に取組む。

一人暮らしの高齢者、高齢者世帯の熱中症対策について

Q　熱中症対応は重要。特に介護認定を受けていない独居の高齢者や高齢者世帯の方々の訪問確認が必要では。民生委員や町内会の協力を得て訪問確認をしては。

A　高齢者世帯への予防訪問が実施されている自治体もある。実施状況や効果等情報収集し、参考としたいと考えている。

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

一般質問



市民ネット

やまざき　まゆみ

山崎 真由美 議員

公共施設の猛暑対策は行政課題

Q　猛暑の夏が続く昨今、エアコン設置はもはや快適性ではなく、市民の健康・命を守る行政課題と捉える。利用者の多い公共施設や避難所に対し、優先順位をつけてでも整備していく必要があると考える。見解を伺う。

A　財政状況は非常に厳しく、一律に設置することは困難。今後は施設ごとの利用状況や室内環境などを総合的に勘案し、財政状況を見極めながら必要な対策を検討する。

交通弱者に対する公共交通の整備に向けて

Q　公共交通は公共サービスとしての必要性が高い。一方、利用者減の状況が続いている。利用しやすい公共交通を目指し、まず地域の意向を踏まえた検討協議の場が必要であると考えるが。

A　「名寄市地域公共交通活性化協議会」において、地域住民からニーズ調査や意見交換を進めた上で、持続可能な交通体系を協議していくことを確認している。



市民ネット

くらさわ　ひろし

倉澤　宏 議員

司法過疎対策について

Q　法律事務所設置に向けた取組みと支援策は。

A　公共性の高い「法テラス」の誘致活動を行っている。情報収集に努め、事務所の早期設置に向け取組む。公共施設等の貸借の検討と、既存事務所との業務連携に努める。

旭川空港を拠点とした地域振興について

Q　名寄旭川空港間の直行バス運行に向けての取組みは。

A　北海道市長会の都市応援プロジェクト提案の観光シーズンに合わせた運行が妥当と考える。実証運行に向け、関係市町村の意向確認と認可申請に必要な調整と調査を行う。

名寄市立地適正化計画について

Q　これまでの取組みの評価と計画の見直しの考えは。

A　居住誘導区域、都市機能誘導区域、方針や施策の目標値について改めてモニタリング計画を評価検証し、新たな総合計画、公共施設再配置計画との連動を図る。



共生なよろ

なかはた　たかゆき

中畠 孝幸 議員

名寄市立大学法人化後の発展に向けて―学会開催について

Q　全国規模の学会を開いて研究の進展に寄与することは大変意義深い。「学会補助費」の制度を作って学会を開催しやすいようにしては。

A　8月29日、30日に「第67回日本社会医学会総会」が開かれ95名の参加者があった。学会の誘致・開催は交流人口の拡大や地域経済の活性化にもつながる。支援する体制づくりに取組みたい。

名寄市立大学法人化後の発展に向けて―定員や学科の見直しについて

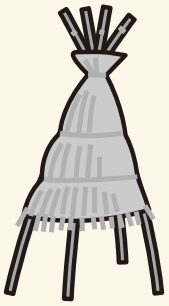
Q　志願倍率や定員充足率の推移から判断して、定員見直しや学科・コースの新設が必要と思われるが、検討に着手しているか。

A　定員の見直しや学科再編についての検討には着手していないが、入学者選抜の改善、志願者の地域的な拡大、教育内容の充実、大学院設置の検討、高大連携など、現在取組める施策を着実かつ迅速に進めている。

林活議連　冬囲い

9月4日、林活議連で日進健康の森でエゾヤマザクラの冬囲い作業を行いました。
極寒の冬を耐え抜いた桜が、来年の春に満開に咲くことを願いつつの作業でした。

林活議連とは…森林・林業・林産業活性化推進名寄市議会議員連盟





市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます

名寄市総合計画（第3次）基本構想・基本計画 定めました





議員協議会

「名寄市総合計画（第３次）素案について説明を受けました」

令和９年度から令和 16 年度までの８年間を計画期間とする本計画は、名寄市のまちづくりの指針となる最も重要な計画です。

【「ひとづくり」「つながりづくり」「しあわせづくり」】を基本理念とし、将来像を【「ここでいい」から「ここがいい」へ　人のつながりと四季の恵みで幸せな未来を創るまち　なよろ】とする中、基本構想・基本目標・基本計画について説明を受け、その後質疑が行われました。

議案審議

名寄市総合計画（第３次）基本構想・基本計画を定めることについて、会期を延長し、
９月 28 日（月）～30 日（水）の３日間で審議しました。
※二次元コードから議会中継をご覧いただけます。

\CHECK/

- ９月28日 基本構想について
- ９月29日 基本計画について
- ９月30日 全体について

きぼう



食からつながる異文化交流

石田（いしだ）　雅子（まさこ）

名寄日台親善協会の事業の一環として７月に「台湾ナイト」を開催しました。当イベントは今回で３回目。この日は台湾の高雄市にある中山大学の学生さんたちが名寄に滞在しており、台湾の米文化のパネル展示や発表をしてくれました。

イベントの主旨は台湾料理を味わいながら、台湾の食文化や日々の食事情について学ぶひととき。私は主に調理を担当しました。初めての食材、初めての料理に四苦八苦しながらも台湾の文化に触れられてワクワクしながら調理。興味深かったのは日本でも馴染みのある食材が、台湾では異なる料理や調理法で親しまれていることでした。特に切り干し大根やお麸の入った具沢山の大きなもち米入りのおにぎりは見ているだけで幸せな気持ちになるような一品で「食の違いと共通点」を、楽しく知ることができました。

「美味しい」を入り口に人と人がつながり、互いの文化への興味や尊重へと広がっていく。食を通して生まれたつながりが少しずつ広がり、その先に平和な未来があることを願っています。



祖父との約束

三浦（みうら）　春希（はるき）

私は就農して２年目の年を迎えました。

私が農業を目指したきっかけは、祖父の影響が大きいと思います。幼い頃からよくトラクターの横に乗ったり農作業を見てきたので農業は身近な存在でした。しかし、可愛がってくれていた祖父が７年前に亡くなりました。生前、祖父は「春希がトラクターに乗っている姿を見たい」とよく祖母に話をしていたことを知りました。祖父の願いでもあった私が“農業をやっている姿”を見せようと思い、農家になることを決心しました。

農家になって手伝いでしかしたことがない作業以外もたくさん任せてもらようになり、失敗やわからないこともありますが、毎日が経験でとてもやりがいのある職業だと思います。また、地域の方との交流を通じていろいろなことも学べるので、これからもそう言ったつながりも大切にしていきたいと思います。野菜も人と同じで愛情や手間暇かけた分、育つ。これからも農業頑張るよ！！



「花鉢ボランティア活動を行いました。」（名寄中学校）

生徒会書記局が中心となり、名寄中学校の生徒たちの有志で募り、約３０名の生徒たちで花を鉢に植える「花鉢ボランティア活動」を行いました。名寄市内に住まわれている高齢者の方やお子さんたちに、「花を見て、少しでも元気に気持ちよく過ごしてほしい」という思いを込めて取組みました。各福祉施設へ届けに伺った際には笑顔で受け取っていただき、ありがとうございました。これからも地域のために何ができるのかを考えながら、少しでも貢献できる活動を続けていきたいと思います。



議会報特別委員会

委員長　川村幸栄
副委員長　高橋伸典
委員　今村芳彦
委員　谷聡
委員　水間健詞
委員　山崎真由美
委員　中畠孝幸

名寄市議会だよりは再生紙を使用しています。
資源を大切に、ごみの減量・リサイクルにご協力ください。

議会だより　なよろ　第82号　令和8年11月1日
発行：名寄市議会　編集：議会報特別委員会　印刷：㈱北方印刷所　TEL（01654）3-2111